

神田通信

◆芸術の秋、食欲の秋。どちらかという、私は食欲の秋です。美味しい食べ物を題材に秀作と考えております。(藤森)

◆昔からの高校野球ファンです。今夏の金足農高の野球は高校野球の原点で、嬉しく思いました。故郷の明石からも出場校があり、久しぶりに喜びました。(奥田)

◆今日の涼しさは、天与のものと思うほど。頭も少しずつ動き出したようで。環境が与える影響をつくづく感じた夏でした。いつの間にか秋が。(磯田)

◆目に見えない空気の流れが画面に感じられる様な写真は風景写真の目的としても良いのではと植田正治は言う。(三好)

◆夏風邪を引きました。熱も少々出ました。でももう大丈夫。台風が持っていつてくれました。台風一過、です。(朝井)

◆本社の書棚で歌集の背表紙を眺めタイトルをかみしめていると、存じ上げているその顔が浮かんでくる。鬼籍に入られた人とも魂を遊ばす時。(和美)

◆八月の初めだったか、NHKで天神橋商店街のことを詠んだ歌を紹介していた。左右からひびく「らっしゅい」の声につつまれて真っ直ぐ歩く二・六キロの一首は、忘れられない一首になった。(茂木)

◆電子レンジが壊れた。朝の牛乳あたために始まって、冷凍ごはん、冷凍食品。いかに電子レンジに頼る暮らしをしているかに気づかされた。(小野)

◆台風21号の暴風は怖かった。関空は連絡橋の崩壊に加えて滑走路の浸水で弱点が露呈。躍起になって万博誘致に動いている大阪市には一大事だ。(高尾)

◆一九八七年のデンマーク映画「パベットの晩餐会」を偶々録画して観ている。村内での在宅介護の様、食文化の違いや重厚さ等、見飽きずに。(浜谷)

◆柳美里の立ち上げた「青春五月党」復活公演「静物画」を観に行った。役者はふたば未来学園高校演劇部の生徒たち。「言葉にする」「声にする」ことの意味を改めて考えた。(藤田)

◆真夜中の間に決まってあかりの点る窓が一つ。高層マンションの八階の西側の窓。なんとなく親しい心持で見上げると歌二首になった。夜風は秋。(槍垣)

◆北海道の地震のすさまじさを見て、原発の近くであればどうなったのだらうかと恐怖を感じた。近畿の台風と言いつつ、災害の多い国だ。(成彦)

◆近畿の台風につづき、北海道の地震。停電と断水、生活用品の行列に並びながら、札幌市北区の木村文子さんはシルクロード・カフェを開店してくれました。店長、ありがとうございます!

◆小林能子歌集『計算尺とゴジラ』と船田敦弘歌集『平城讃歌』の批評特集です。社外からは松崎健一郎氏にご批評いただきました。著者とは古くからのお知り合い。ありがとうございます!

た。船田さんの歌集は奥様の手による遺歌集。在りし日のお姿が偲ばれます。

◆田土成彦氏の「香川進の生きものの歌」の連載開始です。生き物に向ける香川進の目は独特の魅力が「生きものの歌」を通してつきつきと紹介されることでしょう。お楽しみに!

◆お二方にお願ひしてきたC欄とオリブ集の作品批評も次号からは一人ずつになります。限られた字数ですが、できるだけ多くの作品を取り上げ、作品に沿ったご批評をいただけると幸いです。(久我)

●11月・12月の本社予定●

- 11月6日(火) ……校正
- 11月14日(水) ……編集
- 11月21日(水) 実務会議
- 11月24日(土) ……歌会
- 12月4日(火) ……校正
- 12月14日(金) ……編集

*12月の歌会はお休みです

クリップ

誘ください)

地中海社

00160・4・179569

■入会届・退会届について
葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締めになります。新年度が始まりました。平成三〇年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。各欄の月額は次の通りです。

- ・A欄 二〇〇〇円
- ・B欄 一五〇〇円
- ・C欄 一〇〇〇円
- ・購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勸

誘ください) 振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて 一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのお申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題

でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩へ新装版』注文受付
ご注文を受け付けています。

一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

00180・2・790055 九曜書林

本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。

電話はありませんが、常駐する者がおりませんので、誰かが本誌で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・藤森：TEL 090-8301-6423
・久我：TEL&FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見を他もどうぞお寄せください。



